

福井みな子 市政報告



9月定例会は8/28から10/6まで開催され、一般会計補正予算(市立芦屋病院事業助成費、精道小における放課後児童クラブ施設などの工事費の追加)などの議案を審査し、すべて可決されました。また、令和4年度決算は、適切に予算執行が行われていることが確認され、「認定」されました。



決算特別委員会



市の予算は、使って終わりではありません。

市長は、予算がどのように使われたのかを決算としてまとめ、議会はその内容をチェックします(決算審査)。

決算審査が行われるのは、議会に設置されている決算特別委員会です。決算特別委員会には、3つの分科会(総務、民生文教、建設公営企業)があり、前年度の予算の使い方や各事業の運営などが適正かつ効果的に行われているかを分担して審査します。また、改善点を指摘したり要望を出したりするなどし、その内容は、今後の予算編成にも生かされます。

(福井みな子は、決算建設公営企業分科会に所属。)

建設公営企業分科会で出た要望・意見

(一部抜粋)

- ◆ 放置自転車台数は減少しているが、委託料は増加している。委託料の妥当性について検討すべきではないか。
- ◆ 豪雨時における冠水対策について、ホームページの掲載方法を工夫してほしい。
- ◆ 屋外広告物条例制定より7年経過するが、まちがどのように変化したのか市民に発信すべきである。
- ◆ 水道管については着実に老朽管の更新を進めてほしい。

令和4年度の決算から 今後の財政について考える

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に加えて、原油価格・物価高騰への対応のための事業が実施されました。決算全般においては、一般会計及び各特別会計の実質収支額はすべて黒字になりました。歳入の柱となる市税収入は241億4,934万円で全体の50.3%の割合を占め、前年度比較で5億660万円の増加となりました。

しかし、今後は人口減少や社会情勢の様々な要因が連鎖して生じる収入減から歳入の減少が想定されます。

特に、今、市民の皆さんに注目して頂きたいのは、ふるさと納税による減収です。令和4年度、芦屋市民が他自治体に寄附をしたことによる市民税控除額は8億8,723万円となりました。寄附をされる方々の思いを大切にすることが重要である一方、本市にとっては市税が大幅な減収となっていることをお伝えいたします。

今後、大型投資事業や公共施設の維持管理による歳出増加のリスクもはらんでいるため、行財政改革の手綱を緩めることなく、新たな財源の創出による歳入増を図り、慎重な財政運営に努めることが重要になります。



Photo Report

浜町子どもみこしの前で

下水道フェスタ

台湾の112周年
建国記念祝賀会



市立芦屋病院で電子処方箋を導入

厚生労働省が推進している「電子処方箋」の運用が、今年1月26日に始まりました。同日に稼働ができたのは全国でもわずか6病院で、市立芦屋病院は、その内の1つです。この導入と内容が評価され、この度、日本文書情報マネジメント協会より本年度のベストプラクティス賞を受賞しました。電子処方箋の導入は、患者の経過を各医療機関や薬局がより正確に捉えることを可能にします。ICT化を通じた今後の医療の充実に、期待したいと思います。

芦屋市敬老会が開催されました

敬老会には、市内で喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)の節目を迎えられる方が出席されました。今年、100歳を迎えられる方は42人、そして100歳以上の方は65人おられ、兵庫県で最高齢の方は、本市在住の115歳の女性の方です。

社会の発展にご尽力いただいた先輩の皆様へ、心から感謝申し上げます。ご健康とご長寿をお祈りいたします。





福井みな子の一般質問 (抜粋)



英語教育の充実に向けて *Let's enjoy English !!*



グローバル化が急速に進展するなか、英語力の向上は日本の将来にとって重要な問題だといわれています。令和2年より小学校3・4年生に英語教育が導入され、5・6年生でも年間70時間の英語教科が開始しました。そこで、本市における英語教育の取り組み状況や今後の方向性について問いました。

質問① 令和元年に市内3つの中学校で実施された実用英語技能検定試験(以下、英検)は、コロナ禍の令和2年度以降は実施されていない。再開の予定を問う。(令和元年の市内の受験者数は3校合計で233名。)

市長 教職員への働き方改革の視点から、従来の教職員中心の再開は難しいと考えるが、英語に対する意欲を高める授業づくりに継続して取り組んでいく。

質問② 英語教育の充実と、英語力向上のための取り組みについて見解を問う。

市長 小学校では体験、表現を多く取り入れ、中学校ではオールイングリッシュを基本に、授業をするようにしている。また、ネイティブ英語に触れる機会を増やすよう積極的に取り組んでいる。

私の考え

近年、「グローバル化」という言葉をよく耳にするようになりました。私たちは、インターネットを使えば、国や地域などの枠を越え、様々な国の文化や言葉に触れられる環境のなかで暮らしています。こうした社会のグローバル化に対応するには、日本の歴史や文化などの教養を十分に培ったうえで、自らの考えを発信し、相手との円滑なコミュニケーションを取る力が大切です。

今回、中学生の英検受験の機会の創出を提案しましたが、コミュニケーション力に繋がる学習への動機を高めることは、教師の重要な役割の一つではないでしょうか。

学校など、慣れた場所を準会場とした英検受験は、本会場の受験に比べて受験料が約3割安くなるよ。



安全・安心なまちづくりについて

市民の安全を守るために犯罪抑止や防止の目的で設置されている防犯カメラについて、また、特殊詐欺防止に向けた対策について、今後の方向性を問いました。

質問① 市内における防犯カメラの設置状況は？

市長 防犯カメラの設置状況は、149台であり、地域の皆様と議論し設置している。

質問② 特殊詐欺防止対策として今年から無料貸し出しを始めた自動録音機の受付状況について問う。

市長 自動録音機は55人が応募され、全員に貸し出しを行なった。

質問③ 特殊詐欺被害の防止効果が高い自動通話録音機の普及は重要である。今後も引き続き、貸し出しを予定しているのか問う。

市長 新たな貸し出しは予定していないが、詐欺被害防止のためには詐欺の手口等の周知が必要であると考え。引き続き啓発に取り組んでいく。

私の考え

兵庫県内における防犯カメラの設置件数が、社会情勢の変化に対応し増加しているなか、芦屋市内の防犯カメラの設置数は、十分であると認識されているのでしょうか。

神戸市は、約2,000台の防犯カメラを設置。また、加古川市は、本年AIを搭載した防犯カメラ150台を設置しました。

本市においても、地域環境の変化を的確に把握し、防犯カメラの増設を検討すべきであると考えます。

また、特殊詐欺被害は、近年、増加傾向にあります。芦屋市では、令和2年9月議会の一般質問で要望した自動通話録音機の貸し出しが始まったことは、評価します。ちなみに、西宮市では貸し出しではなく無料配付をしています。今後、費用対効果を検証するなど次年度につなげていくことを要望しました。

メール fukui.minako@gmail.com ホームページ <http://www.fukui-minako.com> ブログ <http://www.fukui-minako.com/activityreport/>

<Profile> H23年 芦屋市議会議員初当選 H30年 市議会副議長 R元年 監査委員 R2年 総務常任委員長 R3年 総務常任委員長 R5年 4期目当選



福井みな子

▼今年の冬は新型コロナウイルスウィルスとインフルエンザの同時流行が懸念されています。ワクチン接種に加えて、基本的な感染対策をしつかり取り、この同時流行を乗り越えましょう。

▼「秋は夕暮れ 夕日のさして・」は枕草子の一節。毎日に肌寒さを感じ始める時季、夕暮れはどこかもの哀しく、情緒を感じます。四季の移ろいを感じる心のゆとりを大切に、一日一日を大切に過ごしていきたいものです。

編集後記

市政報告Vol.50 R5年10月発行 <事務所> 芦屋市打出町1-13



事前にご連絡のうえ、お気軽にお越しください。

TEL & FAX : 34-0240